

## 中卒児童の進路、卒園について考えたこと

竹寮寮長 澁谷 隆治

おおいそ学園に配属となって3年目となります。これまで2回卒業式を迎え、もうすぐ3回目の卒業生を送り出す時期が近づいてきました。

竹寮は小学高学年から中学3年までの児童が生活しています。年度途中の卒園もありますが、やはり中学生生活を全うし、卒業式を経て退所していく児童が多くみられます。

中学3年になってから入所する児童も増え、1年未満の期間で生活の立て直しや課題整理に取り組み、同時に学力向上、見学や説明会を経ての進学先の確定、次に生活する場の確保等、児童自身もそうですが、支援する側もタイトなスケジュールをクリアしていくことが求められます。

竹寮は最上級生が中学3年になりますが、その年度の中学3年のカラーにより寮全体の雰囲気やまとまり具合が異なると感じています。

ある年度では、口頭で伝えても受験勉強に身が入らず、やむを得ず受験にかかる学習時間を日課として組み込まないと取り組めない児童が多いこともありました。またある年度では、学習意欲が高まってきても、学習の仕方が分からない児童が多い際、職員がプリントを配布したり、一緒について英語の読み上げや漢字の書き取り等を行ってきました。

今年度については、夏休み前から自発的に受験勉強に取り組み始めた児童がおり、それが他の中学3年児に波及し、相乗効果を生みました。その中学3年児たちの姿勢を目の当

たりにした下級生にも影響がみられ、夏休み中も宿題の取り組みを皆で集中的に取り組む様子がみられました。現在も、中学2年ですが先輩を見習って今から受験勉強を始める児童も現れています。また小学生も触発されて職員に学習の質問をする機会が増えています。

これらのことは、単に児童のやる気に一任しているわけではなく、そもそも高校受験を目指すにしても、どの高校を目指すのか、その高校にどこから通うのか、通える先の生活の場はどこなのか、その見通しが見えないと児童も頑張れませんし、職員も頑張れとは言えません。

各児童により諸事情があるため一概には言えませんが、少なくとも次の生活の場を決めている進捗状況をきちんと児童に伝え、選択肢は何があるのか、どの選択肢になった場合でも高校には行ける見通しを提示する必要を強く感じています。

そのため、保護者の方や児童相談所の協力と連携が不可欠だとも感じていますので、今後とも一緒に児童の未来に向けてお手伝いしていければと思います。



## 生沢分校通信

### ～心を育む講演会～

本年度は、オール道徳の授業の一環で 2 人の講師をお招きし、講演をしていただきました。

#### ・バイオリニスト 式町水晶さん

脳性まひと闘うポップヴァイオリニストとして活動されています。様々なハンディキャップや、自身のつらい体験を音楽に変えて生徒たちへメッセージを伝えてくださいました。特別な「津波ヴァイオリン」も持参していただき音色を聞くことができました。ヴァイオリンの持つパワーと式町さんの想いのこもった音色に圧倒されました。式町さんのお話で、「ヴァイオリンの弦は強く引っ張ったら切れてしまうが、切れてしまったら新しくできる。しかし、みなさんの命は変えがきかないたった一つのもの。いつも自分は頑張っていると、自分のことを大切にしてほしい。」という言葉がありました。式町さんの温かい言葉、そして心地よいヴァイオリンの音色に真剣に耳を傾ける姿が見られました。またヴァイオリンができる生徒とのコラボレーションで、一緒に演奏していただきました。事前の練習から「とても上手！」とあたたかい声掛けをしてくださったので、生徒も安心して演奏に臨むことができました。

#### ・陸上競技選手 末續慎吾さん

昨年に引き続き、末續慎吾選手をお招きし、講演会と陸上教室を実施していただきました。「昨年約束したように今年も来たよ。」の挨拶から始まり、世界陸上への挑戦の話、好きなことを続けることで得られる素晴らしさや大変さなどを、実体験を通じて生徒に話してくれました。生徒たちは、自分自身がなりたい大人の姿や将来の夢などを想像し、あきらめないことの大切さや努力することの難しさを感じている様子でした。講演会後の陸上教室では、走ることの基礎からトレーニング方法などを教えてくださいました。また生徒と一緒に走ってくださったので、生徒たちも意欲的に楽しそうに取り組んでいました。

(中学部 中学 2 年主任 松本教諭)

### ベルマーレサッカー教室

12 月 9 日、「湘南ベルマーレサッカー教室」が開催されました。当日はベルマーレから 2 名のコーチを招き、子どもたちへボールのコントロールの仕方などの技術を教えてもらいました。

準備体操では、鬼ごっこでしっかり体を動かしました。練習では、ボールを使ったウォーミングアップから始まり、パスやドリブルのコツを丁寧に教わりました。コーチの明るい声かけに、最初は緊張していた子どもたちも次第に笑顔になり、懸命にボールを追いかける姿が印象的でした。最後にやったミニゲームでは、いつも以上の力を発揮していました。

プロの技術を間近で体感した時間は、技術の向上だけでなく、仲間と協力する楽しさを再確認する貴重な機会となりました。

(小学部主任 林下教諭)

## おいそ学園通信①

### ～年末発表会～

12月23日(火)に年末発表会が開催されました。インフルエンザが流行している中でしたが、出し物の練習を寮や休日、リハーサル等で積み重ねました。迎えた本番では、見に来て下さった皆様からの温かい応援が、児童にとって今後の糧となる有意義な経験となりました。それでは、各寮の感想をご紹介します。

(梅寮 宮島)

#### 桂寮

桂寮年末発表会あるあるですが、時間ばかり経ち発表する形にならない状況に職員がハラハラ…。今年も本腰スイッチが中々入らず。ところが、リハーサル後にスイッチが入り、そこからの集中、追い上げは素晴らしかったです。劇、替え歌、ストラックアウト、ディアボロ、ダンスどれも本番では堂々と楽しみながら披露することができました。観客からの歓声、掛け声、拍手がより一層達成感を感じさせてくれた事だと思えます。

(桂寮 井田)



#### 竹寮

今年度竹寮では、ダブルダッチや、剣玉、ジャグリング、替え歌などの発表を行いました。発表する演目を決めた直後にインフルエンザが流行っていたり、天候によって十分な練習ができず、職員の方が心配していました。

少ない時間の中ではありましたが、練習することにより上手になり、当日は子どもたちの堂々とした発表をから、観客席からは手拍子等盛り上がる様子が見られました。

今後は様々なことへ挑戦する自信に繋げてもらいたいです。

(竹寮 田中)



#### 梅寮

梅寮では、ディアボロや楽器演奏、歌唱、けん玉など、各児童が音楽に合わせながら、限られた時間の中で練習を積み重ねてきました。

本番を迎えるまで試行錯誤を繰り返し、時には職員からの手助けを借りながら取り組む姿勢には感心致しました。

機材の運び出しや準備、片付けは、高等部生にご協力頂き、円滑に当日を迎えられたことに感謝しております。

(梅寮 宮島)



### ～クラブ活動報告(陸上部)～

2025年の陸上部は9月5日からスタートしました。キャプテンは昨年副キャプテンを務めた中3生がしっかりと皆を引っ張ってまとめてくれました。「自分の走るペースをつかむ」「走れる距離を延ばす」「坂への耐性を付ける」を目指し4種類のメニューを組み合わせ練習に励みました。

こどもの国で開催される駅伝大会ではオープン参加でしたが区間賞の児童が2名と健闘。送別マラソン大会では小学生は4キロ、中学生は8キロを皆走り切りました。6位入賞する児童もおり健闘。翌日には大磯一周駅伝大会に1チーム参加。前日に8キロを走った児童もいましたが襷をつなげてゴールすることができました。やり切るこの経験をこれらの生活にいかせてもらいたいです。

(桂寮 井田)

## おいそ学園通信②

### ～各寮レポート(副寮長だよ!)～

#### 桂寮

児童から「鶴岡さん古い」と言われた時にある光景が頭に浮かびました。私が20代でおいそ学園に勤務していた頃の児童とベテラン職員のやり取り。職員が児童に自身の置かれた状況を理解して欲しく「昔はもっと〇〇だったぞ」と言った時に児童が「俺は昔の人間じゃない」と言い返した場面を笑っていた自分がいた。しかし今の自分が当時のベテラン職員と重なっている現状にハッと気づかされ過去の栄光?思い出?にすがっていないか、きちんと目の前にいる子の成長を願い関わっているか自問自答の毎日である。

(桂寮 鶴岡副寮長)

#### 竹寮

1月現在、竹寮の畑は大根収穫のピークです。まだ真夏の暑さが残る9月半ばに種をまき、水をやり、除草や間引きをし、みんなで大切に育ててきました。本当は収穫祭で販売したかったのですがピークが合いませんでした。その代わりに厨房へ納品し学園の給食に調理してもらい、また児相職員へのお土産として有効活用しています。

寮での調理で人気があるメニューはガーリックを効かせた大根ステーキですが、シンプルなスティック大根も好評です。特に皮の部分の辛味が好きな児童も多く驚きです。

(竹寮 松本副寮長)

#### 梅寮

梅寮は高等部生と中学生が一緒に生活しています。年度初めに6人いた高等部生が年度途中で3人退所しました。

良き先輩として長く梅寮を支えてくれていた高等部生が退所することで、不安もありましたが、心配無用でした。

後輩たちはしっかりと先輩たちの姿を目に焼き付け、良き伝統を引き継いでくれています。先輩を敬い、仲良く遊び、やることはしっかりとやる。梅寮は今日も元気です。

(梅寮 渡部副寮長)

### ～あすなろ作品展～

2月6日に開催された“あすなろ作品展”では、分校で作成した絵画や工芸品等を出品しました。『工芸』1点銀賞、2点銅賞、『絵画』2点銅賞、『手芸』1点銅賞が選出されました。惜しくも金賞には届きませんでしたが、創作活動を通して児童の想像力を豊かにする良い機会だったと思います。

(桂寮 米澤)



#### 【編集後記】

小学校6年生・中学校3年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。4月からは新たな人生のスタートとなる人も多いと思います。皆さん頑張ってください。来年度も、児童と職員が一丸となって頑張っていきたいと思ひます。

(広報委員会)